

経営比較分析表（平成30年度決算）

青森県南部町 国民健康保険南部町医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
18,254	4,909	第2種該当	10:1	

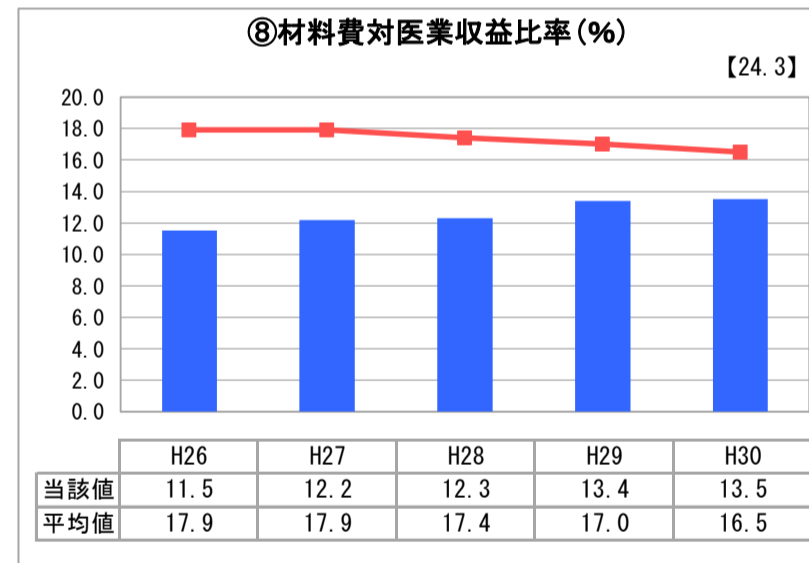
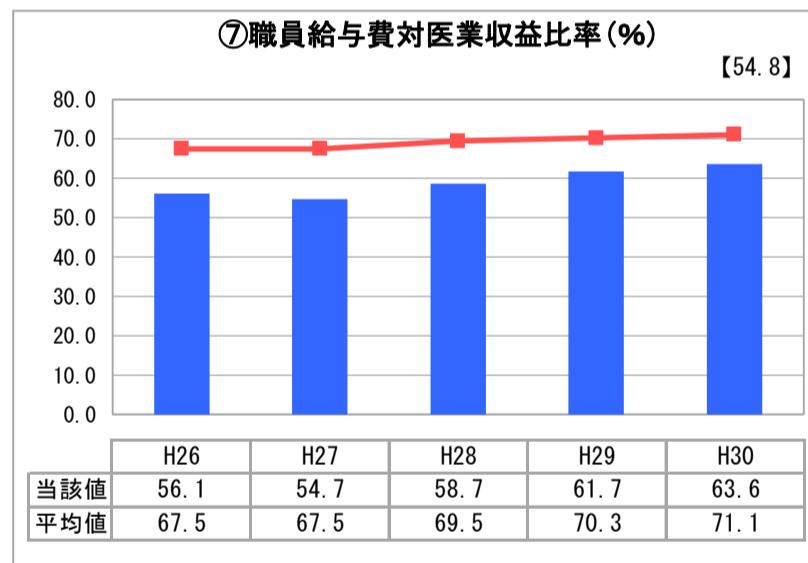
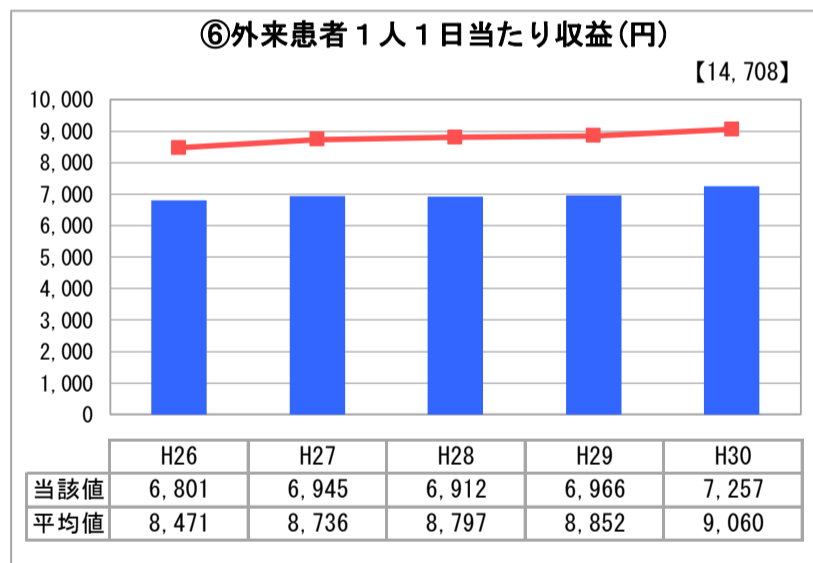
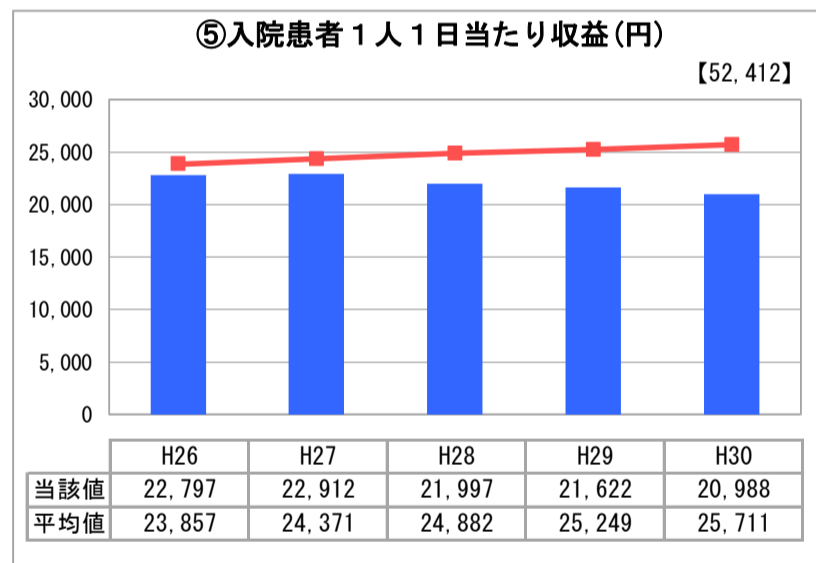
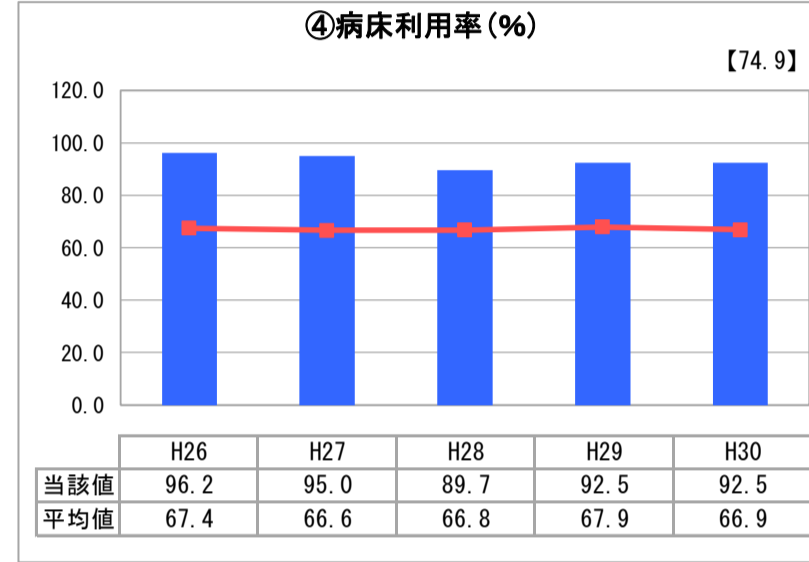
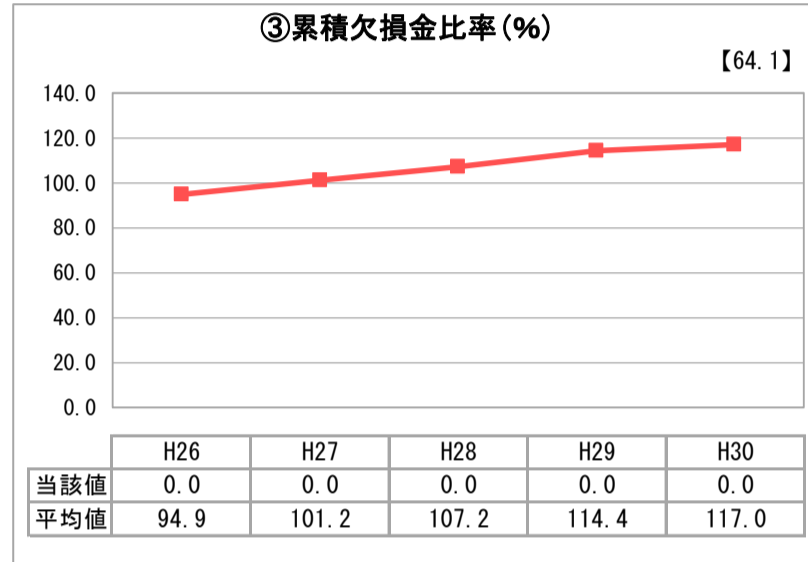
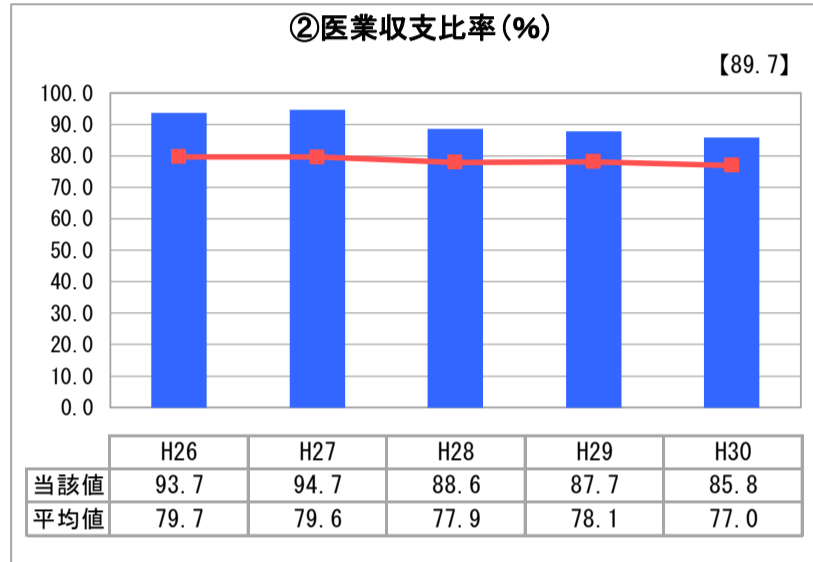
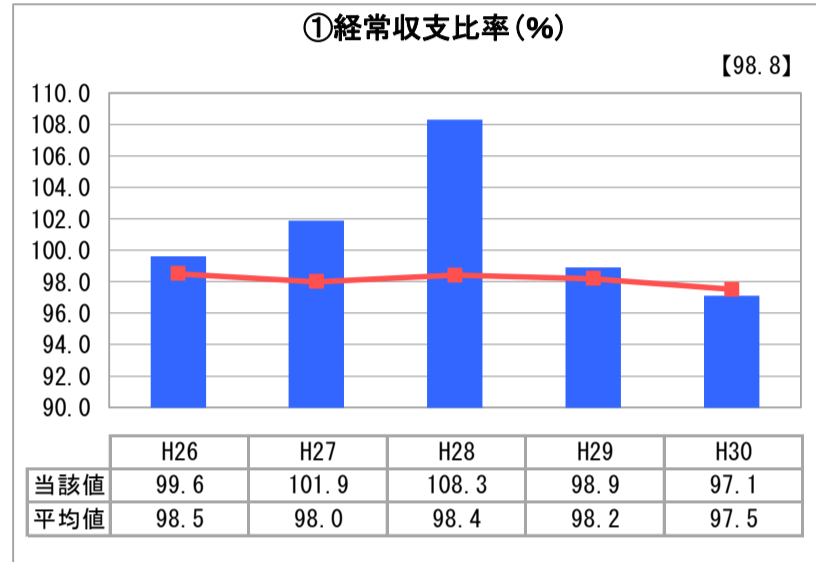
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

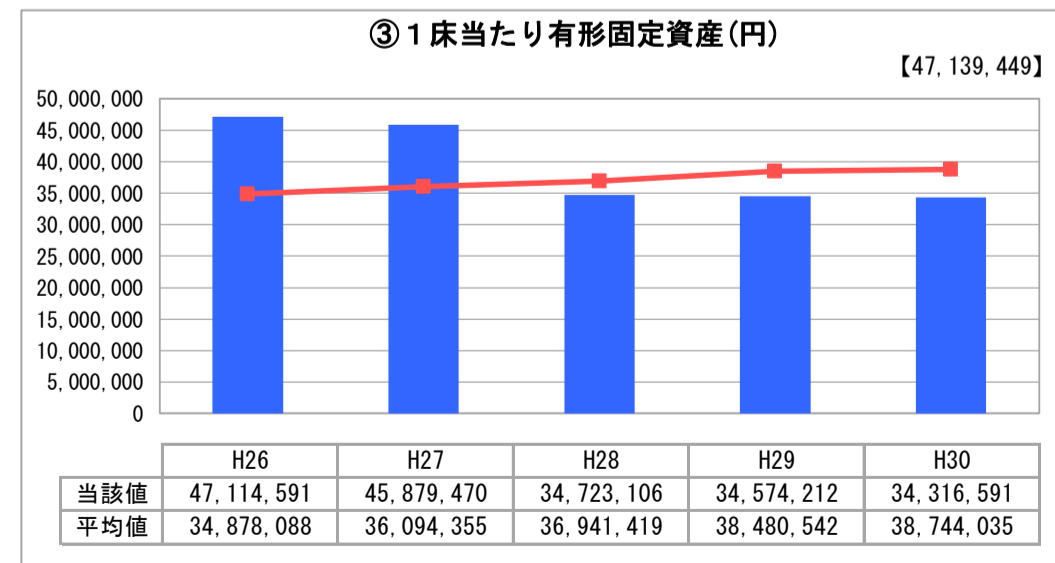
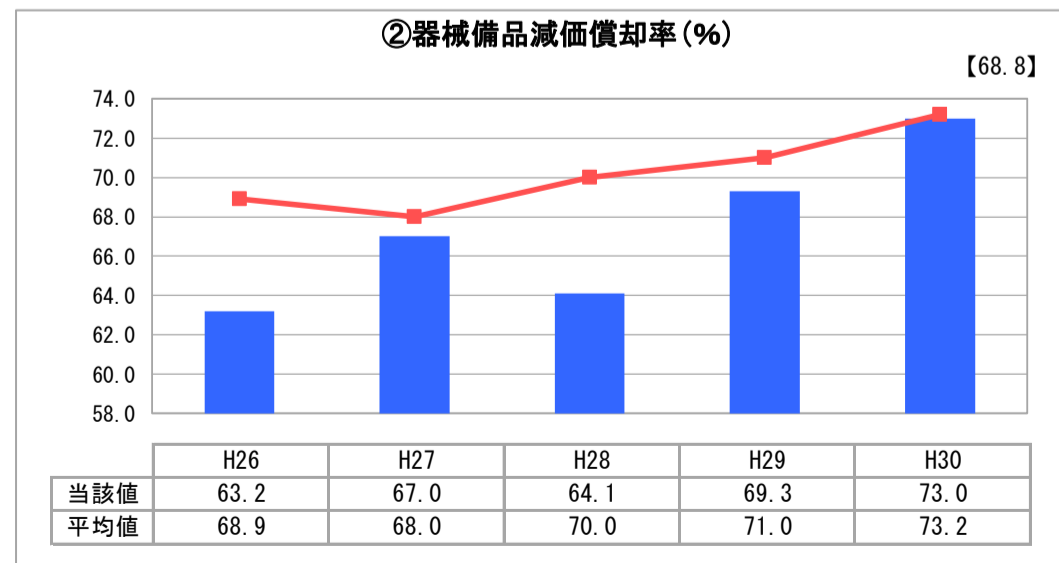
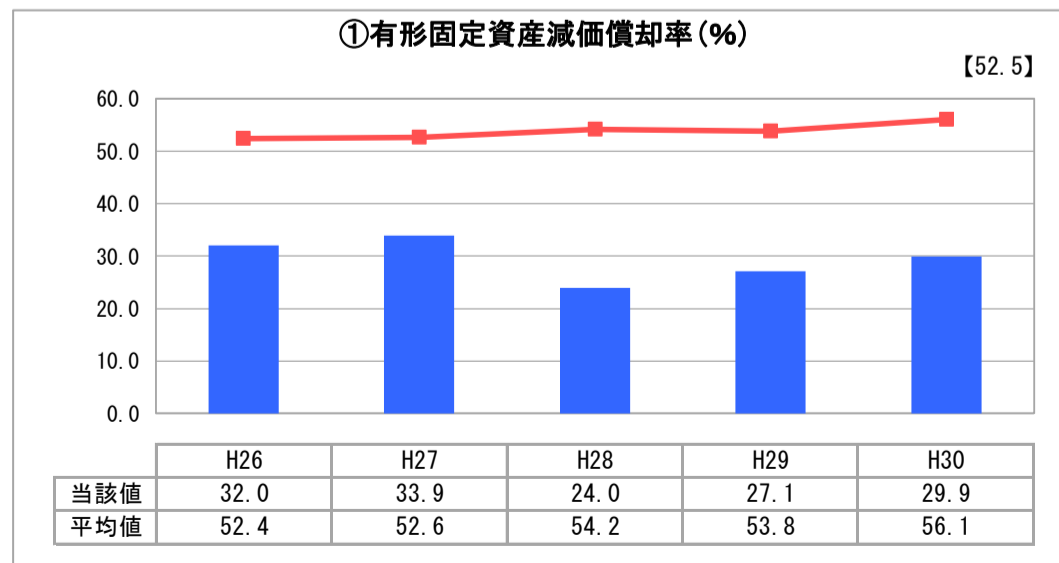
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
26	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	66
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
26	40	66

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-年度	-年度	-年度

I 地域において担っている役割

一次医療圏における急性期医療や慢性期医療に重点を置き、特殊医療の人工透析やリハビリテーション及び救急医療、在宅・地域医療など、不採算・特殊部門に関わる医療の提供も行い、公立病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率：全国・類似病院平均値を下回っている。主な原因として、入院・外来収益の減少と考えられる。収益の柱であるため、改善が必要となる。
 ② 医業収支比率：H30は、全国平均値を下回ったが、近年は、類似病院平均値を超過している。
 ③ 累積欠損金比率：なし。
 ④ 病床利用率：概ね90%以上となっており、問題はない。
 ⑤ 入院患者1人1日当たり収益：類似病院平均値よりも下回っている。これは療養病床（一般26床・療養40床）が、一般病床より病床数が多く、また、病床利用率も高いことから、下回る結果となっている。高い病床利用率を維持することで収益への影響は少ないと思われる。
 ⑥ 外来患者1人1日当たり収益：当センターの患者の年齢層は高く、定期的な診療が多いため、類似病院平均値より下回っている。しかしながら、当センターでも増加傾向であるため、この状態を維持していけばよいと思われる。
 ⑦ 職員給与対医業収益比率：類似病院平均値と比較すると下回っているが、全国平均値を上回っているため、下回るよう計画的に人員配置していく必要がある。
 ⑧ 材料費対医業収益比率：当センターの患者層を勘案すれば、妥当と考えられるため、この数値を維持していけばよいと思われる。

2. 老朽化の状況について

平成26年度に新築移転に伴い、前年度から整備・医療機器の更新を行った経緯があり、建物・医療機器等新しい物となっている。

① 有形固定資産減価償却率
上記理由による

② 機械備品減価償却率
上記理由の他、耐用年数を過ぎても、まだ更新せずに使用している器械もあるため、計画的に更新をしていく。

③ 1床当たり有形固定資産
上記理由による

全体総括

平成26年度に新築移転した事に伴い、2.老朽化の状況においては、平均を上回るようになったが、今後、有形固定資産への投資は、器械備品のみとなることから、計画的に過剰にならないよう更新していく必要がある。

1.経営の健全性・効率性については、概ね、類似病院平均値より上回る数値となっているので、この状況を維持していくことを基本とし、入院・外来患者1人1日当たりの収益増のため、加算の見直しや職員配置等を行い、また、現状を踏まえながら、経費削減と収入確保に努め、健全な病院事業運営に努める。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。